

—介護の“Big Wave”を広げよう！—

介護ウェーブ2018推進ニュース

2018年11月29日発行 NO.8 「社会保障の解体は許さない！憲法を守りいかす社会をつくろう！！」

写真:大阪民医連提供

～各地の取り組み～

☆ 東京民医連のいきいき福祉会では、「当事者の思いに寄り添う」をスローガンに、ケアマネジャーやヘルパーステーションの職員が、法人内グループホームのお誕生日会に参加する取り組みを行っています。また、11月16日には「介護の日」に合わせ職員10名が参加し、八王子駅前で署名活動を行いました。配ったチラシを読んで、署名に戻ってくる方や「私が年を取つたら頼むわね」と声をかける若い方もおり、幅広い世代が興味関心を持っていることが改めてわかりました。当日は45分間の取り組みで84筆の署名を集めました。



☆ 山形民医連では酒田市と山形市、鶴岡市で「介護の日」に合わせてアピール活動を行いました。健友会の職員10名が参加し「介護ウェーブのぼり」を掲げて酒田市内を歩く、「介護ウォーク」を行い介護の現状を訴えました。鶴岡市でも介護職員35名が参加し「介護ウォーク」を行いました。その後、市内のショッピングセンター前での署名活動を行い、159筆の署名を集めました。松柏会でも職員15名が参加し、山形市街地の中心で「2018 介護ウェーブ署名」の宣伝に取り組みました。街行く方々からも「介護保険が良くなるように頑張ってください」など声掛けがあり、介護に対する関心の高さがうかがえました。

11日には山形民医連で「第15回ケアワーカー研修

交流集会」を開催し、40名の介護職員が参加しました。当日行ったグループワークでは介護の仕事の「楽しさ」「やりがい」の共有と「介護の質」について考え、民医連綱領・理念・指針を深めることができました。



☆ 神奈川民医連では11月10日に「学習」「宣伝」「交流」の3部構成で行動を行いました。「学習」では林次長から「介護をめぐる情勢と介護ウェーブの課題」をテーマに講演していただき 2018年改定後の介護事業の特徴や「全世代型社会保障」の問題点について学習しました。「宣伝」では横浜駅前で宣伝行動を行いました。介護職員が順番にマイクを握り「介護職のやりがい」を力強く訴えました。「交流」では法人・事業所を超えて、若手からベテランまで分け隔てなく交流を深めました。



☆ 滋賀民医連 10日に草津駅前で「**介護ウェーブ署名県連統一行動**」を行いました。当日は 16 名の職員が参加し、いい介護制度の実現を訴え 74 筆の署名を集めました。初めての取り組みとして「介護に関わるイメージや介護保険制度クイズ」を行いました。



☆ 京都民医連では 18 日に 60 人を超える職員が集まり「**2018 介護ウェーブ宣伝**」を行いました。宣伝カードを入れたポケットティッシュや宣伝ボードを使い 1 時間で 100 筆を超える署名を集めました。また、久世診療所では介護署名が届いた 9 月から処置室で声をかけるなど日々の取り組みで 570 筆を超える署名を集めました。



☆ 大阪民医連では 10 日に京橋と堺東の 2 カ所で「**介護ウェーブ署名宣伝行動**」を行いました。若い世代の署名も多く介護への関心が高くなっていることを感じました。



～ 2018 年全国介護学習交流集会 ～

11 月 18 日（日）に 2018 年全国介護学習交流集会（中央社保協・全労連・全日本民医連）が東京・明治大学で開催されました。今年は「介護保険制度の現状、その問題点」を踏まえ、広く「高齢者のケアのあり方」を考え基本的人権としての高齢者ケア保障の確立を展望し、その運動方向について考え、共有することを目的としました。2 つの講演が企画され、前半は林次長から「高齢者のケアを保障しない介護保険－歴史と現在」をテーマに、如何にして社会保障費が削減され社会保障の理念が湾曲されたのか、そして介護の現在と現政権が展望している社会保障について報告がありました。

後半は「権利としての高齢者ケア保障の確立へ」をテーマに佛教大学の横山壽一教授より「権利としての高齢者ケア保障の確立へ」とテーマに講演があり、憲法理念に立った社会保障の原則からあるべき社会保障の姿が明らかにされ、「ケアの専門性」と「必要充足と現物給付」の前提となる二つの課題が示されました。また、「名ばかり」社会保障から「真っ当な」社会保障の実現のための財政課題についても、「法人税率を 6 年間の水準に戻す」や「所得税・住民税の最高税率を元に戻す」など具体的な提案も行われました。

講演後の報告・討論では「利用者の人権はだれが守るのか。声が出せない、意思表示ができなくても理解している。職員が少ないことが、現場にとっても利用者にとっても大きな困難をもたらしている」と当事者

東京民医連 いきいき福祉社会 斎藤 加代さん



■ 介護ウェーブ推進本部

各県の取り組みを是非事務局まで送りください！
全国に発信させていただきます。

担当事務局員：小又・山川

TEL : 03-5842-6451 / FAX : 03-5842-6460

E-mail : min-kaigo@min-iren.gr.jp